

2023年 北海道向け 飼料用トウモロコシ品種のご紹介

研究開発本部 北海道研究農場 牧草・飼料作物研究 I グループ 加藤 真裕

1. はじめに

今年のトウモロコシの生育はいかがでしたでしょうか？道東では播種後に低温が続きましたが、昨年のような干ばつもなく、比較的良好な生育だったと思います。当社は道内複数か所の試験圃場で耐病性、耐倒伏性、収量性を確認し、販売品種の選定を行っています。当社が販売している北海道向け飼料用トウモロコシ品種から、皆様の品種選定の際の一助となるよう、いくつかをご紹介します。

2. おすすめの飼料用トウモロコシ 自社品種

(1) 大柄な草姿の極早生多収品種！！

ニューデント80 (LG31207)

2020年より販売を開始している80日クラスの品種です。主に収量性が評価され、2021年に北海道優良品種に認定されました。

①優れた耐病性

ニューデント80 (LG31207) は耐病性に優れた品種です。本品種は十分なすす紋病抵抗性を有しており、すす紋病が発生する地域における罹病度が低いです(図1)。また、近年十勝南部や根釧地域で増加傾向のあるごま葉枯病に対しても優れた抵抗性を示しています。

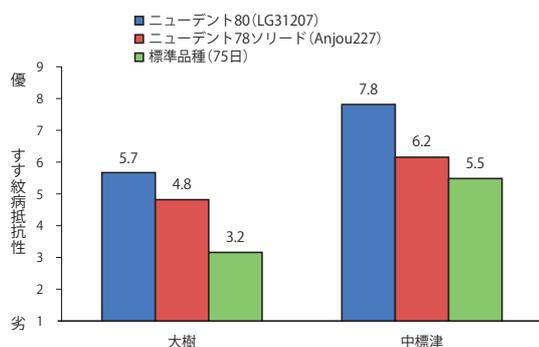


図1 ニューデント80 (LG31207) のすす紋病抵抗性
(2020~2021年の平均 当社大樹試験地、当社中標津試験地)

②早熟な多収品種

先述した優良品種認定に係る試験ではニューデント80 (LG31207) は80日クラスにもかかわらず、82日クラスの標準品種を上回るTDN収量を示していました(図2)。また、当社極早生品種の中で最も総体乾物率が高く、雌穂の登熟が早い品種です。

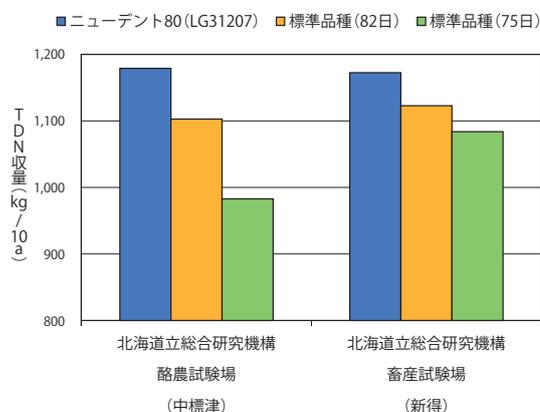


図2 ニューデント80 (LG31207) の収量性 (2018-2020年)

従来の80日クラスに比べて早熟なため、気候的に飼料用トウモロコシが栽培できない限界地帯や75日クラスを使用していた道東の秋まき小麦の前作としてもご利用いただけます。

③栽培のポイント

大柄で優れた草姿を持つ反面、耐倒伏性はやや劣ります。過度な密植を避け、8,000本/10a前後の栽植本数での栽培をおすすめします。また、早熟なためまれに根腐病が発生する場合があります。罹病個体を見つけたら早期に収穫するようにしてください。

(2) 優れた耐病性・子実収量の85日

ニューデント85 (エリオット)

①優れたすす紋病抵抗性

ニューデント85 (エリオット) は85日クラスの品種です。同クラス帯の当社販売品種の中で最もすす紋病に強く、優れた抵抗性を有しています。当社の大樹試験地、北海道研究農場 (長沼町) の接種試験の結果でもすす紋病抵抗性に優れていました(図3)。

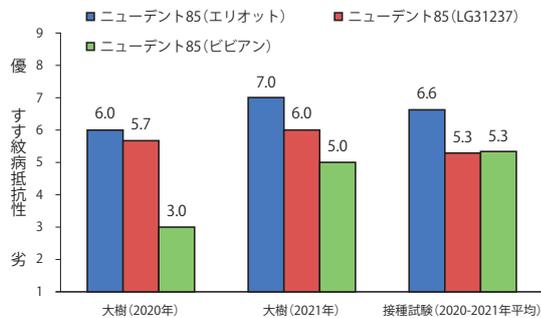


図3 85日クラスのすす紋病抵抗性(2020~2021年)
(当社大樹試験地、当社北海道研究農場(接種試験地))

②優れた子実収量性

雌穂登熟が早く、稔実の良い大きな雌穂をつける品種です(写真1)。栽培期間における積算気温が低い年でも雌穂収量が安定して高いのが特徴です。



写真1 ニューデント85(エリオット)の雌穂

③栽培のポイント

先述の通り、ニューデント85(エリオット)はすす紋病抵抗性に優れ、子実収量が多収な品種です。積算気温が低い冷涼な根釧地域で栽培すると、85日クラスのボリュームある草姿に加え、雌穂の登熟が極早生品種並みに早いことから、茎葉・雌穂収量のバランスがとれた高栄養なサイレージとなることが期待できます。すす紋病が激発する地帯、寒冷で気候条件の悪い地帯で雌穂を中心とした高カロリーサイレージを求める方におすすめできる品種です。

(3) 耐病性・耐倒伏性に優れた品種

ネオデント・アシル90(SH1353)

本品種は他の当社販売品種の90日クラスに比べ、耐病性、耐倒伏性に優れた安定栽培向きの特性をもつ品種です。道東または道央・道南の寒冷で気候条件の悪い地帯での栽培にも適しています。

①優れたすす紋病抵抗性

ネオデント・アシル90(SH1353)は90日クラスの

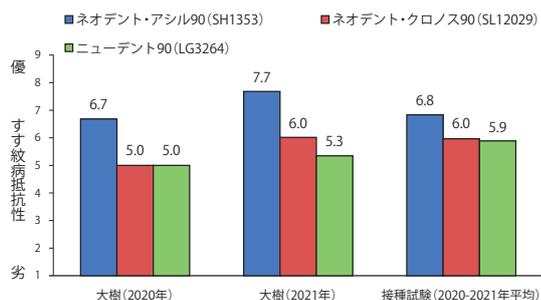


図4 90日クラスのすす紋病抵抗性(2020~2021年)
(当社大樹試験地、当社北海道研究農場(接種試験地))

当社販売品種の中で最もすす紋病に強い品種です(図4)。長年当社の研究農場ではすす紋病菌を接種して、すす紋病に強い系統を選抜しています。ネオデント・アシル90(SH1353)はその中から育成された品種なので、これまでの道内でのすす紋病のレース変化の中で抵抗性を有し続けているのが大きな特徴と言えます。また、すす紋病だけでなく、根腐病抵抗性、ごま葉枯病抵抗性も優れる品種です。

②良好な耐倒伏性

本品種は根張りが良好で当社90日クラスの販売品種の中で最も耐倒伏性に優れています。2016年~2018年は台風等の強風の影響を受け、当社の試験地でも倒伏が多発しました。その中でネオデント・アシル90(SH1353)は倒伏被害の少ない品種の1つであり、当社90日の販売品種の中でも倒伏割合が低くなりました(図5)。また、今年の台風8号の影響で倒伏程度に品種間差が認められ、当社試験地においてネオデント・アシル90(SH1353)の被害は小さくおさまりました。

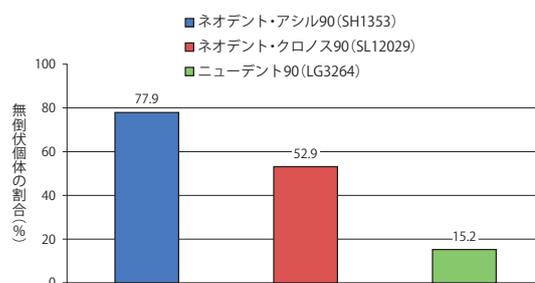


図5 90日クラスの無倒伏個体割合(2018年 当社大樹試験地)

(4) 大柄で多収な耐倒伏性に優れた新品種 スノーデント115(LG31.588)

スノーデント115(LG31.588)は2023年より販売開始となる115日クラスの新品種です。大柄で多収なスノーデント110(LG30500)より更に大柄で見栄えの良い草姿が特徴です(写真2)。加えて耐倒伏性、耐病性にも優れたバランスの良い品種です。

①良好なすす紋病抵抗性

スノーデント115(LG31.588)は病気に強い品種で



写真2 スノーデント115(LG31.588)の草姿



写真3 スノーデント115(LG31.588)の雌穂

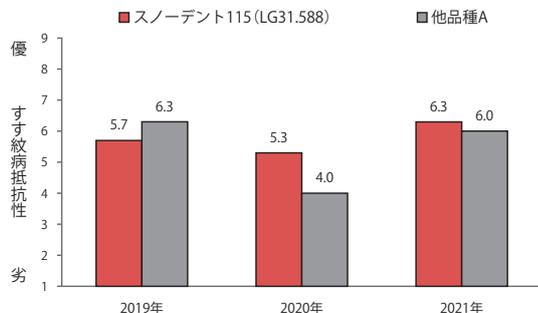


図6 スノーデント115 (LG31.588) のすす紋病抵抗性 (2019~2021年 当社北海道研究農場)

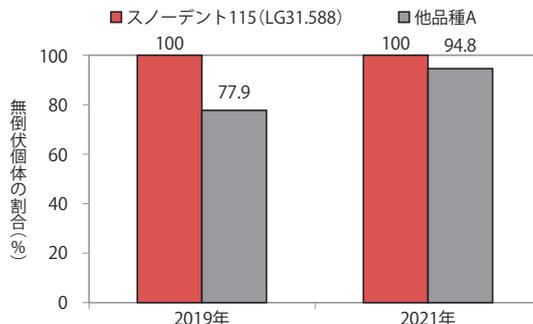


図7 スノーデント115 (LG31.588) の無倒伏個体率 (2019、2021年 当社北海道研究農場)

す。本品種は十分なすす紋病抵抗性を有しており、過去の試験からもすす紋病に強いことが判明しています(図6)。

②優れた耐倒伏性

本品種は稈長が高く、大柄でありながらも優れた耐倒伏性を有しています。過去2か年の試験では倒れることなく、収穫を迎えることができます(図7)。

3. おわりに

当社は今回紹介した品種以外にも多数の品種を販売しています。詳細につきましてはカタログをご参照ください。当社ホームページよりダウンロード可能です。品種についてのご質問、ご相談は最寄りの営業所までお問い合わせください。

「2022年度 酪農学園大学・雪印種苗株式会社共催酪農セミナー」 会場とWebのハイブリッド開催

■開催日時：

日時：12月10日(土) 9時~15時(受付開始8時30分)

場所：酪農学園大学 学生ホール

(北海道江別市文京台緑町582番地)

受講者は会場：先着100名様、Web配信：無制限といたします。

尚、新型コロナウイルス感染状況によっては開催内容を変更する可能性がありますことをご了承ください。

当日のセミナーはWeb配信も行います。

Web配信はZoomを利用し配信いたします。

■参加対象者：酪農生産者、酪農乳業関係者、メディア等

■お申込み方法：下記URLかQRコードからお申込みください。

<https://www.snowseed.co.jp/kyosaiseminar2022/>

もしくは、雪印種苗株式会社ホームページをご覧ください。



■参加費用：無料

■お申込み開始日：2022年11月1日(火)

お申込み締切日：2022年12月2日(金)

■オンライン用URL：事務局よりメールでご案内いたします。

■開催プログラム(予定)：

【講演】

テーマ：飼料高騰下における国内飼料生産について

①昨今の輸入粗飼料の情勢について

兼松株式会社 穀物飼料部 粗飼料課 課長

森光知之氏

課長補佐 磯野雅之氏

千葉拓弘氏

②飼料をめぐる情勢

農林水産省 畜産局 飼料課 流通飼料専門官

光田智裕氏

③飼料価格高騰下における酪農経営の課題－草地型酪農を中心に－

学校法人 酪農学園大学 循環農学類 農村計画論研究室 教授

吉野宣彦氏

④飼料価格の高騰を受けた北海道における飼料生産について

雪印種苗株式会社 トータルサポート室 担当部長

佐藤尚親氏

⑤飼料価格の高騰を受けた都府県における飼料生産について

山形大学 農学部 付属やまがたフィールド科学センター 教授

浦川修司氏